

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 佃の里

目標達成計画

作成日: 平成 31年 2月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練時の「避難訓練口頭指導報告書」に避難訓練を実施した後の消防署からの反省点、職員同士の反省点を記入する際に、わかりやすく且つ誰が参加したかなどの記載が曖昧であり、わかりづらかった。	様式を作り直し、何に対しての訓練なのか、訓練の反省点のわかりやすい様式、誰が参加したかなどわかりやすく作成し、次回から使用する。	必要な項目を挙げて記入することで、振り返りの際にわかりやすく、また、前回と見比べて何が悪かったのかなど、今後どのような取り組み・訓練が必要のかなどを話し合い、様式を作成した。	1ヶ月
2	36	夜間ポータブルトイレ使用の方の部屋に、きれいな状態にはしているが日中使われないまま置いたままであり、家族などの面会時に部屋に入られた際にトイレがあると不快に思われる可能性がある。	日中はポータブルトイレを別の場所に移動させるか、自室に置く場合は隅に移動させ被せるものを作り目につきににくくする。	別室が自室より遠く不便である為、家族の了承をもらって自室に置かせてもらい、ポータブルトイレに布などを被せ目につきににくくする。	1ヶ月
3	13	まだまだ介護経験の浅い職員も多く介護技術のレベルが低い為、急変時の対応介助の際の危険・瞬時の判断・利用者のやりやすさ等を考えて行動できていないことがある。	知識・技術の向上を図り、利用者にあった介護を提供し、住みよいホーム作り、また、職員の気持ち・時間に余裕を持つことにより、できていない支援・コミュニケーション作りをしていきたい。	社内研修・外部研修などに参加を促し積極的に参加してもらい、自分の知識・技術の向上を目指して理解できなかったり迷ったときには職員同士で話し、色々な意見を取り入れ学んでいく。また、ベテラン職員が見て声掛けなどを行い指導していき、ベテラン職員も初心を忘れずさらなる知識・技術向上を目指す。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。